



Rainbow color communication

# にじいろ通信

つうしん

一人はみんなのために みんなは一人のために



赤とんぼ

## CONTENTS

- P2 上村診療部長 挨拶
- P3 研修医紹介
- P4・P5 当院の消化器グループの現状と今後の目標
- P6 部門紹介 ～リハビリ～  
職員紹介
- P7 新病院への取り組み



国分生協病院

上村  
診療部長  
あいさつ  
Director message



国分生協病院 診療部長  
上村 寛和

新病院建設バンザイ!!

構想 5 年、ようやく新病院建設が始まりました。

狭い：建坪率の関係で、わずかな拡張さえ出来ず。高圧線も駐車場にあり、どうにもこうにも手詰まり。  
古い：直しても直しても、起こる雨漏り・・・

このままでは、どうにもならないと議論を重ねてきました。そして昨年、様々なご協力をいただき、広々とした土地を取得することが出来ました。

新病院は、多くの組合員、職員の方々の意見をもとにコンセプトを打ち出して、設計されました。

新病院では、

- \*入院・外来患者の皆さんのアメニティー向上（過ごしやすい、居心地の良い、利用しやすい病院）  
今まで、狭い待合と診察室、狭い病室、そして狭い駐車場と、利用される皆様に随分ご迷惑をお掛けしていました。
- \*災害時、避難場所や拠点となる病院  
すぐ隣の市役所、消防署、警察署などと連携して、災害対策が出来る病院になれるよう、災害対策委員会も立ち上げました。今年度、大規模災害訓練も実施予定です。
- \*今後もますます要求が高くなる救急医療を、維持し発展させられる病院  
救急室も 2 室になり、拡張されます。MRI が設置されます。脳梗塞疑いで転送せざるを得なかった方々の、一次医療機関としての役割も担えるようになります。
- \*開業医の先生方、様々な施設や訪問看護、ヘルパーなどとも連携を深め、地域に密着した病院  
満床で苦勞していた透析室も拡張されます。開業医の先生方や施設入所者がお困りの際、少しでもお役に立てるよう、努力していきます。  
などなどの改善が期待されています。

新病院になるといっても、科の新設や、医師の大幅な増員があるわけではありません。これまで同様、二次・三次の病院や地域の先生方にも力をお借りし、連携を密に器だけでない成長をしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願い致します。



# 地域を守る医師を目指します

## 研修を終えて



有吉 拓哉

### 1. 出身地

福岡県福岡市

### 2. 研修中大変だったことはありますか？

カルテ操作で慣れるのに大変でしたが、最後の方でやっと慣れることが出来ました。

### 3. やりがいを感じることは何ですか？

自分が担当した患者様やそのご家族が笑顔で退院された時はとてもやりがいを感じました。

### 4. 国分の印象がありましたらお願いします。

どんな時も先生方がとても丁寧に指導してくださいました。その中での研修でしたので、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。

### 5. 国分での研修の感想をお願いします。

福岡県にあります千鳥橋病院から来ました研修2年目の有吉拓哉と申します。6月27日より腎臓内科で研修させて頂きました。将来は腎臓内科医の道を考えていて、また救急で透析をされている患者様も来院されるので透析患者様をもっと診る事ができるようになりたいと思い、腎臓内科での研修を希望し、国分生協病院でお世話になることになりました。国分生協病院での研修では、腎疾患や透析管理について多くのことを学ぶことが出来ました。1ヶ月半という短い期間ではありましたが、ご指導の程ありがとうございました。



鮫島 浩継

### 1. 国分での研修内容について教えてください。

私は、重症管理、腎・透析管理等に関する患者の治療を希望し、初期研修の内科研修の一環で働かせてもらいました。当院での初期研修医の内科研修は入院が上がった患者さんの治療や書類処理などの主治医としての業務を行わせて頂きました。

### 2. 研修中に印象に残っているエピソードはありますか

こちらでの最初の当直研修で、歩いてきた心不全の患者さんが外来で呼吸循環不全となり気管挿管、胸骨圧迫など蘇生を要する状態となったことがありました。とんでもない病院に来てしまったと思い、戦々恐々、ちょっとワクワクしました。(その際は、指導医の適切な治療のおかげで当該患者様は無事歩いて帰宅しました。)

### 3. 研修を終えての感想をお願いします。

国分生協病院は地域の患者さんの為に頑張る病院だと思いました。地域の医療機関の中でも重要な2次病院としての役割も果たしつつ、地区の医師会にも積極的に提言し、行政や消防からも頼りにされている病院であると感じました。また、連絡事項や時間外対応など配慮されており、帳票システムや事務作業も充実していると思います。対応の困難な患者さんに対しても病棟スタッフは非常に優しく、柔軟に対応していると感じました。病棟には多大な迷惑をお掛けしましたが、チーム医療を頑張らないと行けないと実感できた研修でした。指導医の先生を始め、病院のスタッフ全員からご指導頂いた研修になりました。2ヶ月間有難うございました。



# 対談シ

## 消化器グ 現状と

消化器担当医  
医局長

小坂元博揮

患者さんや地域に役立てるような  
消化器診療に取り組んでいきます。



吉満：当院での消化器診療の特徴について教えてください。

小坂元：当院は、1982年に内科の病院として始まりました。開設当初から、慢性疾患で定期通院中の方の全身管理目的で消化器分野の検査や治療に取り組んでおり、1987年に外科が開設されてからは、消化器癌の早期発見に努めてきました。現在では、消化器内視鏡分野では、上下部内視鏡検査、出血性潰瘍への内視鏡的止血処置、大腸ポリペクトミー、内視鏡的胃瘻造設（PEG）、胆道疾患への内視鏡処置などを行っています。外来診療では慢性ウイルス性肝炎、炎症性腸疾患で定期通院中の方がおられます。最近ではC型肝炎に対してのインターフェロンフリー治療や手術適応のない肝臓癌に対しての肝動注化学療法なども行っています。



松本医師の外来診察

吉満：近隣医療機関からの紹介などはどうですか。

小坂元：この地域では、霧島医師会医療センターさんに消化器病センターがあり、当院からもお願いする事も多いので、基本的には外来定期通院中の患者さんの診療が中心となっています。ただ、当院では血液浄化治療や、CCUネットワークを担っていることもあり、腎不全や循環器疾患を合併している方の消化器精査での紹介や、腹痛・発熱で胆道系精査目的の紹介、PEG目的の紹介等があります。



内視鏡処置室の風景



# リーズ ループの 今後の目標

内視鏡担当  
看護師  
吉満 美樹



今後も近隣医療機関と連携を  
深めていきたいと思えます。

吉満：PEG紹介についてもう少し詳しく教えてください。

小坂元：この間のPEGの状況について、振り返ってみたところ、直近9年間で241件のPEGを行っていました。9年前に初めてPEG目的の紹介があり、これまでに98件の紹介を受けています。紹介して頂いた患者さんは、事前にPEG可能か外来検査の後、順調にいけば1週間程度で退院していただいています。その後も定期的に胃瘻カテーテル交換に来られる患者さんもおられます。今回の調査で、当院で在宅療養中の方でPEG後8年以上頑張っている事に改めて気がついたケースもありましたが、紹介患者さんの場合、PEG後の状況を把握することが難しいこともあります。今後は地域の医療機関や施設の方々と情報を共有し、胃瘻関連のネットワークづくりなどに取り組めると、地域での医療福祉の連携が更に進むのではないかと考えています。



消化器チーム会議の風景



消化器チーム

吉満：今後の目標はありますか。

小坂元：日々進歩する消化器医療を学び、腎臓内科や循環器内科と協力しながら、合併症を抱える患者さんの診断・治療に対応出来るように心がけたいと思います。来年秋にオープン予定の新病院では、内視鏡室も現在より広げ、様々な検査・処置に対応できる環境を考えています。

当院では多職種で集まり、消化器診療についてのカンファレンスを定期的に行っています。患者さんが利用できる社会資源を活用し、社会的に問題を抱える患者さんにも目を向ける姿勢を保ちながら、近隣医療機関と連携を深め、患者さんや地域に役立てるような消化器診療に取り組んでいきたいと思えます。



# 部門紹介

## ～リハビリ部～



国分生協病院リハビリ部は、1999年にPT2名で開設し、現在PT8名OT4名ST1名で病院・通所リハビリを中心にリハビリテーション活動を行っております。当院でのリハビリは脳血管・廃用・呼吸器・運動器に加え、2014年5月より循環器リハビリを開始しました。循環器リハビリでは院内心不全チームを立ち上げ、循環器医師を中心に多職種が意見を出し合い、急性期から在宅期や職場復帰までフォローできる体制を整えております。また、循環器リハビリだけでなく、昨今の医療情勢に伴ってリハビリの提供内容も変化してきており、患者様と担当療法士の関係性が他の職種やご家族に見えにくかった以前の状況から、医師・病棟・患者様ご家族との連携が強化され、情報が共有されることによる『見えるリハビリ』へと変わりつつあります。来年11月には新病院新規移転により、各病棟にリハビリ室を配置することとなりました。今後更に『見えるリハビリ』を院内だけでなく、地域にも拡げていけるよう鋭意活動していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



# 職員紹介

## ～地域の期待に応えるリハビリを行うために～



### 《プロフィール》

2007年 4月 鹿児島生協病院 入職  
2011年 4月 国分生協病院 赴任  
2011年12月 呼吸認定士 取得  
2015年 4月 介護支援専門員 取得  
2015年12月 心臓リハビリ指導士 取得  
2016年 4月 認定理学療法士 取得

### リハビリ部 吉野 徹

#### 《認定理学療法士（呼吸器）と心臓リハビリ指導士になったきっかけ》

リハビリは急性期から回復期に病院にて実施したり、デイケアや訪問リハビリのように施設や自宅にて行ったり、健康活動推進のように地域で教育したりと多岐にわたります。自分が赴任した当初より当院では、呼吸器と心大血管のリハビリに力を入れておりました。そこで、人工呼吸器を使用するような重症な患者に早期からリハビリが介入する事で、少しでもADLが改善して欲しいと思い、専門的な知識や技術をみにつけるため呼吸器の認定理学療法士になりました。それと、以前は霧島地区に外来の心大血管リハビリの受け入れ施設がありませんでした。そこで、循環器医師と共に患者に安心を提供したいと思い心臓リハビリ指導士を取得しました。

#### 《今後の役割について》

内部疾患の呼吸器リハは人工呼吸器下での排痰、早期離床、心臓リハビリはACSや心臓術後の早期から運動療法はもちろん、心不全会議を開始しています。心不全患者のコーディネーターを行い、病院全体として心不全ケアに取り組みたいと考えています。そして、地域の拠点となり霧島市を盛り上げたいと考えております。



## 国分生協病院は、来年11月に新築移転いたします。

新病院移転に向けて、特設ホームページを開設しました。病院新機能の紹介や、工事の進捗状況を随時写真入りでお伝えするお知らせ欄、ホームページには職員が想いを語る職員コラムなどを設けています。是非ご覧ください。（ホームページアドレス: <http://kokubu-seikyo.jp/newhospital/>）



### 外観写真各階概要

- 5階：一般病棟（42床）
- 4階：一般病棟（48床）
- 3階：透析室（57床）  
療養病棟（39床）
- 2階：手術室・リハビリ室・厨房  
各種管理室
- 1階：外来診察室・救急室・検査  
放射線・受付・会計

## 2016年霧島市国分夏祭りに参加しました。





# 当院の内科紹介患者の受け入れに関してのお願い

国分生協病院 院長 山下義仁

先生方からの当院内科外来への御紹介に関して、スムーズな受け入れのために、以下の予約による御紹介をお願いしたいと考えております。予約可能な方は、下記の専門外来に電話予約をお願い出来れば幸いです。

内科外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土
午前 専門外来 (8:45~11:00)	循環器	吉見	柴田	吉見	吉見		※吉見(不定期)
	呼吸器		櫻田祐	佃屋			
	消化器・肝臓			松本	小坂元	松本	※松本(不定期)
	腎・膠原病		上村(再診のみ)		上村(再診のみ)	上村(初診・隔週)	
	神経内科				田代		

※学会出張等の都合により変更になる場合があります。詳しくは電話にてご確認ください。

## お知らせ

※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させていただきます。

※上記体制表の中の※は、不定期となります。お電話で確認をお願いします。

※上記以外の、通常の一般外来は12時まで受付を行っています。

※当院に受診歴のない患者に関しては、保険情報のFAXをお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

※不明な点があれば、お電話をお願い致します。

予約・問い合わせ番号 **0995-45-4806**



## バス路線案内

(最寄のバス停はいずれも生協病院前)

### ・福山・垂水方面からお越しになる場合

国分駅行き(いわさきバス)、国分駅行き・鹿児島空港行き(鹿児島交通)のバスに乗車

### ・国分駅・空港方面からお越しになる場合

萩之元行き・上ノ原遺跡行き(いわさきバス)、垂水行き・鹿屋東笠之原行き(鹿児島交通)のバスに乗車

※国分ふれあいバスも生協病院前バス停で停車します。

## 国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目22-18  
 電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938  
<http://kokubu-seikyo.jp/>